

2003 年 5 月 29 日

製造業への解禁、紹介予定派遣などについて野党が質問

職安法・派遣法 参議院・厚生労働委員会で審議

職安法・労働者派遣法の改正案は、5 月 27 日、参議院・厚生労働委員会において趣旨説明が行われたのに続き、5 月 29 日の委員会で審議が行われました。午前中は 1 時間、与党が質問。午後は、民主党・今泉昭議員、無所属の会・西川きよし議員、社民党・大脇雅子議員、自由党・森ゆう子議員らが質問に立ちました。

今泉議員は、ものづくり基盤の崩壊や労災補償など物の製造業務への解禁に関する問題点を指摘するとともに、派遣事業適正運営協力員制度の活用を訴えました。職業安定局長は、適正運営協力員制度について「運営の改善が必要」と答えました。

また、大脇議員は、紹介予定派遣の濫用防止策について追及しましたが、濫用防止についての具体的な答弁は得られませんでした。森議員は、請負業における安全衛生について質問。偽装請負における安全衛生体制について、法の谷間に置かれていることが浮き彫りになりました。